



2024年度（R6年度） 地圏環境科学科 3年生 ガイダンス

日時：4月8日（月）11:00～12:00

会場：合同C棟アオバサイエンスホール

学科長・専攻長：武藤、地理代表教員：堀

教務担当：鈴木紀毅（地質）、磯田（地理）

忘れる前に. . .

【ガイダンス資料入手先】

http://www.es.tohoku.ac.jp/JP/private/academic_affairs/#guidance

(学内のみアクセス可)

当日配布しません。ガイダンス当日までに、自分の学年の項目の資料を確認しておいてください（地惑分野・地質分野の項目も入っていますので、間違わないでください）



忘れる前に. . .

令和6年度自修会委員の選出

3年生：地圏より選出（毎年度新規に選出）

4年生：●●●（3年生の委員が継続する）

大学院修士：●●●（奇数年度地質地理交互選出：R5は地質より選出）

大学院博士：●●●（奇数年度地質地理交互選出：R5は地理より選出）

教員：●●●（偶数年度地質地理交互選出：R4は地質より選出）

①「連絡先入力フォーム」を忘れずに回答すること

HP:東北大学理学地球科学系・

理学研究科地学専攻 [トップ](#) >

[内部向け情報](#) > [教務情報](#) > [ガイダンス](#)

[「ガイダンス」から3年生の項目へ](#)

→ [「入力フォーム」](#)

※大学のIDでGoogleのログインしておくこと

※「地学連先情報入力フォーム」が開きます。

東北大学理学地球科学系・理学研究科地学専攻
<http://www.es.tohoku.ac.jp>



要回答・提出：2

3年生

②進路希望調査・卒論テーマ調査

Google Formに記入し、締切日までに提出。

締切：4月16日（火）17時まで



速やかに
入力しましょう。

<https://forms.gle/dHgr55C714Zdk7uZ8>

要回答・提出：3

3年生

③ 「学習状況・進路希望アンケート」の提出

Google Formに記入し、締切日までに提出。

締切：4月14日（日）24時まで



<https://forms.gle/qRAmaxCUu12RcXXp9>

（注）一つ前の②と似たアンケートですが、調査元が異なるために、データ共有ができません。

学外研究活動計画書の提出（義務）

【提出対象】 野外調査、学外機関での分析など研究活動に係る出張等、学会の参加、その他類する活動

【注意】 国内外、期間の長短、公費・私費に関わりなく要提出

【提出方法】 Google formから届け出
<https://forms.gle/2fdS1oKUJvXZ5qL86>

※事前に指導教員にも許可を得ておくこと。

※提出書類は、学生院生の所在把握はもとより、学外で不慮の事故等が発生した場合、保険適用の重要な証明書類となります。



「インターンシップ願」の提出について

【参加許可要件】

申告制。学業（研究や授業）に支障がないことを指導教員や学科長と確認し、参加について承諾を得る必要がある。

【提出先（メール）】

- ・ 地学教務窓口（tigaku-kyom@grp.tohoku.ac.jp）。
- 指導教員と木幡をccに加え提出。（教員の押印は不要）

【書類の入手先】

地学専攻HPの内部限定からダウンロード

【備考】

- ・ インターンシップよりも授業、実習を優先すべきであり、学業に支障が出ないように注意。

【終了後】

- ・ インターンシップ報告書を提出する
（提出先は「インターンシップ願」と同様）

事前届出は必須

- * **学生便覧**を熟読すること
- * Web履修について
 - ・ 「東北大ウェブ SRP」 (Web検索で探す) >
「東北大学ポータルサイト」 > 「学務情報システム」
 - ・ 登録期間があるので、忘れず登録する。修正期間後の登録は難しい。
- * キャンパスライフ支援室にて、履修相談ができる。
(合同A棟3階 岩渕さん)
「東北大 理学部 キャンパスライフ支援室」で検索。
- * 履修単位数を必ず確認すること。(124単位のうち必要要件を確認すること。特に教職科目と自由聴講科目はカウントされないので注意：便覧 P47-49)
- * 履修単位上限 28単位/セメ(4~8セメ)、ただし、実習・演習・集中講義・教職・自由聴講科目を除く。

【必修科目への変更がありました：新3年生むけ】

- ・基礎野外実習II・地圏環境科学実習II（5セメ）：新3年生から（令和4年度入学から）

※必修になっていない，基礎野外実習I、科学英語演習も単位をとること。

【卒業要件に変更がありました：新3年生むけ】

「専門教育科目」

必修授業科目 22単位（旧） -> 26単位（新）

選択必修授業科目 6単位以上（旧） -> 4単位以上（新）

選択授業科目 40単位以上（旧） -> 38単位以上（新）

(2) p. 41の備考欄

(旧) 「基礎野外実習及び野外実習 6科目から3科目以上を選択すること」

(新) 「基礎野外実習I及び野外実習 5科目から2科目以上を選択すること。コース配属にかかわらず，基礎野外実習Iを受講することが望ましい。地圏進化学コースの学生は野外実習I（選必）とII（選必）の2科目から1科目以上、環境地理学コースの学生は野外実習III（選必）とIV（選必）の2科目から1科目以上を選択すること。なお、地圏進化学コースの学生は野外実習IとIIの両方を受講することが望ましい。」

教務関係：3

2022年度学生便覧より

さらに6
単位必要

116
単位

68単位

32
+
4
+
10
+
2
単位

区 分	修得を要する授業科目，単位数等
全学教育科目	以下の基盤科目・先進科目・言語科目及び学術基礎科目に記載されている要件（計46単位）を含め48単位
基盤科目 先進科目	人文科学群から2単位以上 社会科学群から2単位以上 10+2+2=14 学問論群，学際科目群，先進科目類から，次の科目を含めて10単位以上 学問論 2単位 自然科学総合実験 2単位 2+2+2+4=10 情報とデータの基礎 2単位
10+4単位	
言語科目 10単位	英語Ⅰ-A，Ⅰ-B，Ⅱ-A，Ⅱ-B，Ⅲ，Ⅲ（e-learning）の6単位 初修語の基礎Ⅰ，基礎Ⅱ**から4単位
学術基礎科目	次の要件を含めて 22単位以上 基礎数学群から2単位以上 基礎物理学群から2単位以上 2×4+4+10=22 基礎化学群から2単位以上 基礎生物学群から2単位以上 基礎宇宙地球科学群から地球システム科学，地球物質科学の4単位
12+10単位	
専門教育科目	必修授業科目 22単位 → 26 選択必修授業科目から6単位以上 → 4 選択授業科目から40単位以上 → 38 なお，選択授業科目の単位には，関連科目の単位を含めることができる。
68単位	

* 表の要件の合計は116単位となる。残り8単位は全学教育科目，専門教育科目のいずれでもよい。

教務関係：3

- * 6～8セメの「課題研究」と「セミナー」の単位は4年生後期に単位が出ます（3年生後期時点では成績表は空欄）
- * 所属学科の開講科目を優先受講する（「科学英語演習」など）
- * 積み上げ式の科目は「選択科目/選択必修」でも受講すること
 - （1）「科学英語演習」->「セミナー基礎」->「セミナー」
 - （2a）「基礎野外実習II」->「野外実習I」->「野外実習II」
 - （2b）「基礎野外実習II」->「野外実習III」・「野外実習IV」
- * 他学科関連科目申請（教務課窓口へ申請）

* 3年生の分野配属（地質・地理）スケジュール

（地圏進化学コース→地質、環境地理学コース→地理）

- ・ 4月22日（月）：地圏・グループ分野説明会
「セミナー基礎（必修・14:40～）」の授業中（201号室）
- ・ 6月3日（月）：地圏・グループ志望表の説明と配布
「セミナー基礎（必修・14:40～）」の授業中（201号室）
- ・ 6月14日（金）：地圏・グループ分野志望表の提出締切
Google formへ回答（提出）
- ・ 6月24日（月）：地圏・グループ決定
- ・ 7月11日頃：
地圏進化学コース：教員による卒論課題検討会をへて課題を通知。
環境地理学コースでの卒論は、学部4年時（6セメ）に決める。

教務関係：5（資格取得について）

- * 教員免許の取得には、教育実習が必要（計画的に履修を）
中学校の教員免許には「介護実習」もある。
- * 教職科目うち、生物の2科目（「分子生物学」と「生態学」：P43, P123）は自由聴講科目なので、卒業認定単位にならない。
学科開講科目と時間割がかぶっている場合、自学科を先に受講
- * 学芸員資格には免状といったものはない（学部で必要単位を取得し、学芸員資格認定試験を受験。単位取得状況により免除になる可能性あり、詳しくは便覧 P130)
- * 測量士補の資格は、測量に関する科目40単位を修得後、国土地理院へ申請する。（詳しくは便覧P131)

学生生活の注意事項：1

- * 大学のメール (@dc.tohoku.ac.jp) を一日数回はチェックすること（学務および日常の様々な情報が送られる）。
- * 他に常用のアドレスがある場合は、転送設定を行い、確認を怠らないこと。該当する要件には返信すること。スパムメールは無視すること（知人を語って送ることもある）。
- * SNS、メール、ネットなどでのマナーと情報リテラシーを学ぶこと。
- * 教務情報システムも自分から確認に行く。

学生生活の注意事項：2

* 3年前期の控室

地学棟513号室と201号室を使用可能（授業等で使用していない時）。ただし、教員部屋に近接するため、絶対に騒がないよう注意。清潔に使うこと。

* 地圏3年共通のメールボックス

専攻事務室斜め向かいに設置。教務関係、個人宛の郵便物等が配布。日々、確認してください。

* 地学専攻HP

各種書類がダウンロードでき、メーリングリストなど情報が掲載

学生生活の注意事項：3

3年生

* 休学・復学・退学

学科長・教務担当（鈴木紀毅・磯田）に相談し、学科長に申し出

* 2つの保険加入（ほかの保険に入っている場合でも加入必要）

- ・ 学生教育研究災害傷害保険（学研災）
- ・ 学生教育研究賠償責任保険（学研賠）

※授業・実習の参加ができません。

※過年度生は再度加入

※加入状況が分からない場合は、理学部教務窓口で確認

* 事故にあった際

- ・ 指導教員、教務課事務室（Tel：022-795-6645）に連絡
- ・ 救急車搬送時に、「**東北大生である**」ことを伝えると、東北大学病院救急救命センターに優先的に搬送してもらえる。

学生生活の注意事項：4

3年生

- * **悩みや健康に不安があったら（不調2週間以上が目安）**
 - ・ キャンパスライフ支援室
 - ・ 学生相談所
 - ・ 健康管理センター（内科・外科・歯科・精神科）
- * **過激派・宗教団体・闇バイトに注意**
同好会に扮していることが多々ある。何かあれば相談。
- * **違法薬物**
輸入・使用・譲受・所持等の禁止。（懲戒退学、奨学金返還、懲役刑の厳しい処分。肉体精神に障害、突然死も。）
- * **ハラスメント禁止**
アルコール，匿名攻撃，つきまとい，いやがらせ，恫喝

一人で悩まず、相談してください。

経済支援

- * 奨学金制度には、日本学生支援機構の奨学金の他、様々な奨学金の募集がある。
奨学金情報については、学務情報システムから随時募集要項が送付される。

応募する場合は、教務課学生支援係に連絡する。
理学部・理学研究科ウェブサイト（在学生の方へ＞授業料・経済支援）に奨学金募集一覧がある。
応募には履修状況が良好であることが前提となる。

- * TOEFL ITPを受験できる。

研究倫理

3年生

【受講対象】 事務技術職員を除いた**全構成員**

【該当区分】

・ レベル 2 : 学部 3 ・ 4 年次学生

-> APRIN eラーニングプログラム (eAPRIN)

<https://edu.aprin.or.jp/>

R6年度より学部4年生は、受講形式が変更になります。

2. 研究倫理教材について

(1) eAPRIN (受講対象 : 全レベル) 全てのレベルにおいて、受講が必須です。受講者は、一般財団法人公正研究推進協会 (APRIN) が提供する eラーニングプログラム (eAPRIN) <https://edu.aprin.or.jp/>を受講してください。

* レベル 2 「学部導入教材 (ICF) 大学初年次向け研究倫理教育 (理学研究科) コース」

各コースの単元のテストで 80 点以上を獲得し、修了証発行を以って受講完了となります。

(問い合わせ先) 理学研究科総務課研究支援係 :
sci-kenkyu@grp.tohoku.ac.jp

受講方法、期間等については、学務情報システムで周知されます！

最後に

3年生

- * **3件のGoogleフォーム**への回答を忘れずに
- * **定期健康診断をWeb予約（4月12日から開始）**
診断実施期間：4月22日（月）～26日（金），5月7日（火）
～20日（月）（土・日・祝日を除く）
- * **自修会委員**を1名選出してください
（2024年度研究科協議会委員を兼ねる）。
- * 紙版の時間割が必要な学生は、理学部教務係（学割発行機
反対側窓口）に置いてあるので、各自受け取ってください。
- * **新3年生歓迎会**（担当：澤、高橋直）
日時：4月8日（月）16時半～
場所：川内萩ホール前（雨天時 別途案内）
※先輩・先生との交流、分野配属、研究グループ選びの参考になるので全員参加すること！

地圏環境科学科での大学生活が 充実したものであるように！

東北大学理学地球科学系・
理学研究科地学専攻
<http://www.es.tohoku.ac.jp>

ガイダンスの資料・新学期の配布資料・回答フォーム等は
すべて地学専攻HPに掲載されています。
必ず、HPをチェックして、新年度をスタートさせましょう。